

Fuji Forest

Vol.7

2023/NEW YEAR

そまびとたいけん
杉人体験

組合長就任のご挨拶

富士森林組合 広報誌

撮影者 株式会社Trustgear 鈴木教郎

組合長就任のご挨拶

富士森林組合
代表理事組合長 佐野 和義



新年あけましておめでとうございます。
富士森林組合組合長に就任しました佐野和義と申します。組合をより活気ある協同組合とする所存ですので、皆様のご協力、ご支援、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

私と山林との関わりは小学生の時、祖父に山林の除草刈りを友人と誘われたのが最初の出会いです。その後山林を意識し出したのは母校のPTA活動に参加した時です。創立五十周年を迎え新生中学創立時の生徒が行った行事の一つを記念事業にしました。当時は山林が荒廃し国、県が森林資源擁護運動を推進し、植林作業は教育の一環で作業に対しては加配米の支給があり、また地域の篤信家が山林を寄贈、貸与して下さり学生は先生に引率され杉、檜を植林しました。記念事業は森林の整備等を行い新たな山林に蘇る事が出来、学校の玄関には五十年の切り株が来訪者を迎えています。

さて、現実の林業関係はどうでしょうか
気候変動、ウッドショック、二酸化炭素問題、山林を取り巻く環境はさまざまな問題が山積み状態です。

各地では事業者の取り組みも活発化しています。異業種グループの連携で、生育が早い針葉樹「テラダムツ」を植林し作業量やコストの低減効果を調べています。また競争力ある林業への転換に向け、ドローンやITの導入でコスト削減を図り、効率化を目指しています。

これからの林業を展開していくには、時代に即した林業経営が求められ、組合はそれに応えて行く必要があります。

目標に向けさらなる努力を重ねて行く所存ですので、今後共宜しくお願ひします。

令和3年9月から事業課森林計画係として採用されました林業従事者2年目の四條洋輝です。僕の目標は、数十年後の山の形を想像し山主様や林業従事者から「ありがとう!」「いい仕事をしたな!」「いい山だ!」と言われる山を目指し、先輩方から厳しくご指導いただきながら早くひとりで一通り仕事ができるように日々精進していきます。
森林計画係 四條洋輝

令和4年4月から事業課森林整備係として採用されました高野璃音です。農林環境専門職大学の短期大学部にて林業の技術と知識を学び、せっかく林業をやるならば見知らぬ土地の山林より自分の育った土地の山林を守りたいと思い富士森林組合に入りました。現場に出てみて、学ぶことや体力勝負に大変さを感じる事もあります。自然の中で毎日変わる状況に楽しさを感じながら充実して仕事が出来ています。まだまだ、出来ることは少ないですが、日々精進してまいりますので、よろしくお願ひします。
森林整備係 高野璃音

▲ 新人のご挨拶

▼ 組合員の皆様へ

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際には森林組合までご一報ください。組合員名簿の名義変更が必要です。ご住所変更の際にもご連絡ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
コロナの影響で中止だったイベント等もこうして無事に開催され、皆様と共に笑顔になれて嬉しいです。まだまだマスク、うがい、手洗いが欠かせない毎日ですが本年も組合員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

富士森林組合
ホームページ



富士森林組合
Facebook



発行所
富士森林組合
静岡県富士宮市下条1073-1
電話0544-59-2648





＼ ついに3年ぶりの林業祭!! ／

森林計画係 係長 石川正和

令和4年10月15・16日の2日間、富士宮市役所にて3年ぶりの林業祭が開催されました。両日とも天気の良いこともあり、少しずつではありますが以前の賑わいを取り戻し始めた気がい

たします。当組合では、林業という仕事を実際に何をしているのかを、多くの方に学んでいただくためにクイズ形式の参加型ブースにしました。全問正解者にはくじを引いてもらい、職員お手製の景品などをお渡ししました。(写真有り)参加者様からは、好評の声や、開催年には必ず来て下さるリピーターの方もいました。勿論、ヒントなしでのクイズでは難しいので、ブースの中にパネルや写真等を貼り、実際に見たり読んだりすることにより印象に残るよう意識しました。また、普段使用しているチェーンソー、防護ズボン、ヘルメット等をディスプレイしたり、実際の作業風景の映像などを上映したり、イメージをしやすいように工夫しました。来年は今年の反省を生かし、より一層林業に興味をもってもらえるように頑張ります。二日間とも大盛況であり、参加者様の中には小さなお子さんからご年配の方まで、数百名の方に来ていただきました。ありがとうございました。来年も無事開催できることを願い、この記事を読んでくださった読者様も是非足を運んでみてはいかがでしょうか。



＼ 朝霧カーニバルに初参加 ／

森林計画係 石川真理

令和4年11月6日(日)、富士宮市根原にある静岡県立朝霧野外活動センターにて行われた朝霧カーニバルに初参加してきました!

新型コロナウイルスの影響を考慮し、来場には事前申し込みが必要となっておりましたが、定員の1000人を超える方の申し込みがあり、キャンセル待ちとなっていたようです。当組合では、プチ林業体験としてチェーンソーを使ってのヒノキの丸太伐り体験を行いました。開始直後から体験希望の方が多く来られ、約4時間で200名近い方に見に来ていただき、その内、子供から大人まで約120名に体験していただきました。体験では、職員が普段の仕事で使用しているヘルメット等の安全装備を着用し、チェーンソーの使い方の説明を受けてから丸太を伐りはじめ、チェーンソーの重さや振動、音などを実際に感じ、伐り終わると子供たちからは「楽しかった」・「怖かった」・「重くてうるさかった」など様々な感想がありました。自分で伐った輪切りは、ご家庭でもヒノキの匂いなどを楽しんでいただけるようにお土産に持って帰っていただき、今回の体験や林業について改めて話し合っただけであればと思います。今回、初めて朝霧カーニバルに参加し、普段森林や林業とふれあう機会のない方々に少しでも森林や林業のことを知り、感じていただけたらよかったです。当組合では、林業体験などのイベントの開催・参加をしておりますので、ご興味のある方はぜひ参加をしていただければと思います。



＼ 白糸小学校5年生の体験間伐 ／

森林整備係 係長 永野昭夫

令和4年11月2日、田貫湖の西側にある白糸財産区有林で白糸小学校5年生(12名)を対象とした体験間伐をおこないました。当日は天気も良く森の中で活動するには最適な一日でした。

4班(1班3名)に分かれて森の中に入りノコギリを使って木を伐る間伐作業をおこないました。

ノコギリでの作業なのでとても大変でしたが、木をみんなで倒した時の感動がその分とても大きく満足そうな笑顔になっていました。



最後には伐った木を使ってトンカチやコースターを作りお土産に持って帰ってもらい、みんなとても喜んでいました。これを機会に小さな子供達にも山や木のことに関心をこれから持って欲しいなと思いました。

そまびとたいけん 杉人体験



令和4年10月30日に富士地区林業研究会、静岡県富士農林事務所、富士宮市の共催により杉人体験が富士宮市山宮の森林と富士山交流プラザで開催されました。僕たち組合は指導員3名を含む5名で参加しました。

1歳から75歳の方々が参加し、ノコギリで実際に木を伐採できるよう「受け口」「追い口」の手順で間伐を体験してもらいました。大人でもノコギリでの間伐は大変な作業ですが、子供たちは、笑顔で一生懸命ノコギリを引き最後は、力を合わせて木を押し伐採しました。最初は寒かった体も終わるころには暑くなって薄着になり、お昼にはイノシシ汁を食べ、午後は交流プラザに行き富士ヒノキメイド(富士地区の木材ブランド)の小さい椅子を作って今回の杉人体験は無事終わりました。

自ら立木を伐採し、それが森を育てるという意味を知る、とても有意義な体験だと思いました。

森林計画係 四條洋輝